

き れ い な 空 気 よ い 水 を 求 め て

# 会報 かれいなきょう

Vol. 23



photo : 「駿府城公園 紅葉山庭園」駿府城公園 二の丸施設管理事務所提供

県内優良施設見学研修会

(株)エコネコル  
横浜ゴム(株)三島工場 …1

環境セミナー  
異常気象と私たちの暮らし …3

会員事業所の取り組み …4

アドプトプログラム …5

かんきょうにゅーす …5



この会報誌は古紙配合率 100%、  
白色度 70% の再生紙を使用してい  
ます。

# 「県内優良施設見学研修会」に参加して

## ■DATA■

平成27年11月19日(木)

①(株)エコネコル(富士宮市) ②横浜ゴム(株)三島工場

恒例行事の「優良施設見学研修会」が2015年11月19日(木)開催されました。見学企業は、リサイクル事業を展開する「株エコネコル」と、創業100周年を2年後に控える「横浜ゴム(株)三島工場」殿を見学させていただきました。

### (株)エコネコル

#### 1.会社・見学先概要

(株)エコネコルは昭和25年創業、金属類の収集・加工・販売からスタートし現在では様々な資源のリサイクルや貿易に従事する「Economy: 経済」と「Ecology: 環境」の両立に「先端的ローテクノロジー」を駆使してリサイクル経済の最前線を拓き続けている企業です。静岡市の清水港を含む国内9か所の鉄スクラップヤード、大阪、佐賀には非鉄ヤードを集荷拠点としてもつエンビプロ・ホールディングスグループの中核を担っています。

見学先である山宮工業団地内には、シュレッダープラント、固体燃料製造施設、選別工場、リサイクル工場を設置し、自動車、OA機器といった耐久消費財等を破碎処理から、さまざまな再資源化施設において、分離・選別を繰り返し、埋立処分されるダストを極限まで減らす取り組みをしています。

#### 2.環境への取り組み内容

山宮工業団地内の事業そのものが環境への取り組みとなります。1250馬力のシュレッダーでの破碎、破碎時に発生するダストを風力で運べる軽量ダストとそれ以外への分別、そのうち軽量ダストは樹脂等が多く、固体燃料製造施設に回ります。固体燃料は、製紙工場で使われるRPFとなるようです。

重量ダストは、磁石に付くもの(鉄類)とそうでないものに分けられます。渦電流選別、重液選別、乾式選別、カラー

選別とそれぞれ成分の特性に応じて選別されます。渦電流選別は、N極、S極を複数組み合わせた装置に電流を流し、銅等の電流を通しやすい材質のダストを飛ばすことで選別する方法、重液選別は、素材の比重で3種類の比重の液体中を通過させそれぞれ分別するもの、乾式選別は摩擦を利用してスロープを重いものは登り、軽いものは落ちるようにして分別するもの、カラー選別は比重では分けられない例えは銅とアルミの選別といった用途に分かれています。人手での分別はコスト高となるため、できるだけラインでの選別を行い、最終確認を人で行う等の工夫がなされています。

環境の国際規格ISO14001は平成10年、労働安全衛生のOHSAS18001は平成19年、品質規格ISO9001は平成25年に認証取得を行っており、企業活動による環境への負荷を継続的に低減・防止していく活動に取り組むとともに、業務上の労働安全と衛生に関するリスクを洗い出し、対策を講じることで問題発生のリスクを低減させる活動にも取り組んでいます。

見学の最後に、地域と共同で取り組んでいる活動が紹介されました。エスパルス関連として、「もったいないBOX」の設置が紹介されています。IAI日本平スタジアム(試合当日限定)、エスパルスドリームプラザ、エス





パルスドリームフィールド静岡に設置されているそうです。

### 3.感想

われわれの日々出している廃棄物には多くの資源が含まれています。特に、自動車や家電にはさまざまな部材が使われていることから、簡単には処理できません。ガソリンやオイル類といった危険物もあり、冷媒等も含まれています。それらへの配慮だけでなく、それぞれの素材に配慮し、使えるものは使えるように分別していく、それを人手でやるのではなく、素材の特性に注目して分けていく工程には興味深いものがありました。分別にもさまざまご苦労があるようですが、原料となる廃棄物が日々内容の違うものである点や破碎・分別にかける前処理にも多くのご苦労があると思われます。

## 横浜ゴム(株)三島工場

### 1.会社・見学先概要

横浜ゴム(株)は大正6年の創立以来、タイヤをはじめ、工業用品、スポーツ用品等、数々の製品を世に送り出し、国内10の生産拠点のみならず、世界にも生産販売拠点を置くグローバル企業です。三島工場は、昭和21年に操業を開始し、乗用車用タイヤ、レーシング用タイヤ、ライト・トラック用タイヤを製造しています。平成9年に国内初のエコタイヤを販売しました。レーシング用タイヤは、三島工場のみで製造しており、近藤真彦氏が率いる「KONDO Racing」にも供給しています。

### 2.環境への取り組み

国内の生産拠点ではクリーン燃料の高効率なコーチェネレーションシステムを導入しており、大幅なCO<sub>2</sub>削減を可能にしています。さらに国内の全生産拠点では、産業廃棄物の埋立処分量をゼロ

にする完全ゼロエミッションを達成しています。

「YOKOHAMA 千年の杜」の活動で工場敷地内に約2万本を植樹し、職場毎に担当を決め、手入れを行っています。また、沼津市が推進する「沼津の森づくり」に従業員が育てた苗木を寄贈しており、2013年にはシイ・カシ・タブ類の常緑広葉樹の苗木300本を寄贈しています。浜松や掛川の森づくりにも取り組み、岩手県大槻町で植樹も行いました。現在も苗木を育成しており、希望があれば苗木の提供をしていただけるそうです。さらに、近隣河川である御殿川の清掃活動に取り組むとともに、生物多様性活動として、水質調査や生物調査も行い、記録しています。これらの活動は、工場構内に展示スペースを設け写真や図で表示されています。

### 3.感想

工場見学ルートが整備されており、見学ポイントに、ウエルカムボードが設置されているとともに、説明用の設備のミニチュア装置や、実物サンプルとともに鉢植え植物、動物小物といった見学者をほっとさせるような配慮がみられました。多様な見学者の受け入れや周辺の清掃活動、おおがかりな河川調査など地域との関係も大切にしている姿が見られました。

### 全体を通して

寒さを感じる雲の多い日、参加者は少なめでしたが、資源循環にさまざまな工夫で取り組んでいる企業、操業開始当時から比べ周辺人口が増える中、製造会社として周辺にも配慮しながら操業している会社とそれに熱い活動を続けておられる感じました。こういった活動を外部に公開していくことこそ、企業の社会的責任の一つであると思います。

レポート:TOMOEGAWA 山梨泰弘





# 環境セミナー

Friday, February 5, 2016

## 異常気象と私たちの暮らし ～気象災害から身を守る～

講師 気象予報士 渡辺 蘭氏



気象予報士の渡辺蘭氏をお招きし、「異常気象と私たちの暮らし～気象災害から身を守る～」を演題としお話を伺いました。

渡辺氏は、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ科を卒業後、音楽の他英語を使う仕事をしたいという志のもと、日本航空インターナショナルに入社されました。客室乗務員として、毎日空を飛ぶうちに、空への興味を持ち、その後、2007年～2009年にテレビ朝日「やじうまプラス」のお天気キャスターとして出演後、2009年に、気象予報士の資格を習得し、2011年からはNHKニュース「おはよう日本」の気象キャスターとしてご活躍されています。

講演では、キャスターとして、日々の業務を通して感じる事や、気象情報を伝える舞台裏など、毎日の生活に欠かすことができない、天気予報の仕組みについてもわかりやすく教えていただきました。

気象災害は、大雨、強風、雷など姿かたちを変えて、時に私たちに猛威を奮ってきます。

地震・火災を除く気象災害の現場では、不意打ちの豪雨や強風によって多くの命が奪われています。気象災害による死者・行方不明者の数は、少なくとも減少傾向は見られないのが実情であるとの事でした。

一方、異常気象とは一般に経験した現象から外れた状態を表す言葉であり、ある一定の場所や時期において30年間に一度発生する現象で、近年では、広島市を襲った豪雨による土砂災害や、昨年9月に発生した、関東・東北豪雨（積乱雲が帶状に並ぶ線状降水帯）が記憶に新しいところであります。

直近では、本年1月に西日本を襲った、大寒波

による水道管の破裂や沖縄では観測して以来39年ぶりにみぞれを観測する等、まさに異常気象現象が多く発生しています。

また、私たち静岡県の気象についてもお話を聞いていただきました。温暖な気候に恵まれつつも、山間部の内陸性気候と沿岸部での海洋性気候が混ざり合い、年間の降水量も2,375mmと、東京（1,500mm）に比べ降水量が多い県であり、特に山間部での雨量が多く、大雨には注意が必要であるとの事でした。

渡辺氏は、気象災害から身を守るために、発信側も気象に関する様々な情報発信が今後ますます大事なことになってきているが、その一方で、情報を受取る側の私たちも、前兆現象や生活する場所の特徴を捉え、併せて災害に対する普段からの意識や備えが重要であると、改めて気象災害に向き合う姿勢を学ばせていただいた講演会がありました。

結びに、少ない天気予報の時間枠の中で、視聴者の皆さんに分かりやすく伝えるために、その日の天候に応じた洋服を選んだり、さまざまな工夫や演出をし、四季の移り変わりを感じとっていただけだと、話しておられた事が印象的でした。

レポート：静岡ガス(株) 大畑 敦



# 環境保全に向けた 静岡ガス(株)の取組み

静岡ガス(株) 大畠 敦

当社は明治43年(1910年)の設立以来、静岡県中東部の6市3町を供給区域として、約30万戸のお客様に都市ガスをお届けしています。平成8年からは環境にやさしい天然ガスを導入し、現在では静岡・浜松間を結ぶ高圧パイpline「静浜幹線」や御殿場地域の天然ガス化などにより周辺の都市ガス事業者への卸供給を通じて、静岡県内の多くのお客さまに天然ガスをお届けしています。

## 静岡ガスの環境活動

当社は将来のエネルギーを創るという自覚と社会的責任のもと、幅広い事業活動で、自社だけではなく地域の環境負荷低減と省エネルギーを推進し、さらに環境問題への積極的な取り組みを通じて地域環境保全や持続可能な地域社会づくりを目指しています。

### ■ 環境コミュニケーション活動の推進

エコ・クッキング※講座やエネルギー環境教育など次世代を担う子どもたちや地域のみなさまにエネルギーの大切さや環境保全・地球温暖化対策の重要性を伝える取組みをしています。

また、ガス機器の効率的な使い方やお手入れの方法紹介や、サステナビリティと環境負荷低減技術を備えた本社ビル、「エコライフスクエア三島きよよみ」に代表される環境配慮型住宅街区の紹介等、地域の環境保全と活性化に向けた啓発活動も推進しています。



食を通して環境を考えるエコ・クッキング  
【2007～2014年 実績:440回】  
※エコ・クッキングは東京ガスの登録商標



「エネルギーとは何か?」をマイナス196度の液体窒素を用いた実験等を通して楽しく学び、考えるエネルギー環境教育  
【2007～2014年 実績:567回】



昔からある自然や動植物を守りながら、環境保全の大切さを伝える観察会  
【2014年 実績:6回】

### ■ 地球温暖化防止への寄与

事務所内照明のLED化や環境マネジメント活動により、職場の省エネ・環境保全活動や廃棄物の削減に取り組んでいます。本社をはじめ静岡支社、研修センターの屋根には太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの導入も推進しています。

また、エネルギーを地産地消しCO<sub>2</sub>排出量が少ない家庭用燃料電池エネファームや省エネガス機器の普及推進によりお客さま先での環境負荷の低減を図っています。



昼休みの消灯や部分照明をするとともに事務所内照明のLED化を計画的に進めています



エネルギーを地産地消し、CO<sub>2</sub>の発生が少ない家庭用燃料電池「エネファーム」



再生可能エネルギーの導入も推進しています

### ■ 持続可能な地域社会づくりに向けて

地域内のエネルギー有効活用や分散電源を活用した新しい電力事業モデルを推進し、地域社会の発展に寄与するとともに低炭素社会の実現に向けて取り組んでいます(2016年4月電力販売開始)。

平成27年12月2日に地球温暖化対策に貢献する活動をした団体を称える「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を授与いたしました。

一緒に  
参加しませんか?



# 河川環境 アドプトプログラム のご案内

## アドプトプログラムとは

河川環境アドプトプログラムは、河川敷のごみを取り除くことにより、美しい河川を創るとともに、環境学習に生かしたり、川に愛着をもっていただけるような取り組みとして平成14年度に始まりました。

現在、日本有数の清流である安倍川、藁科川、興津川の16区間で約40団体が活動しています。

## 活動のメリットは?

### 1. 川がきれいになります。

- ・安倍川は平成の名水百選に選ばれ、興津川は清水区民の貴重な生活水源であり、市民の憩いの場所です。

### 2. イメージアップになります。

- ・活動を静岡市ホームページで紹介します。
- ・事業者名を載せた看板が立ちます。
- ・表彰を受けることがあります。

### 3. 入札制度の加点対象になります。

- ・静岡市が実施する総合評価方式の入札において、加算点がつきます。(別途申請が必要となります)

### 4. 自由に活動ができます。

- ・活動日や時間を自分たちで計画し活動することができます。

## 参加するには?

担当者から詳しい制度内容と申請方法についてご説明させていただきますので、まずはご連絡ください。

### ●問い合わせ先

静岡市役所 環境局 環境創造課  
TEL 054-221-1319 (直通)  
[http://www.city.shizuoka.jp/601\\_000135.html](http://www.city.shizuoka.jp/601_000135.html)

## 清水区三保クロマツ植樹地

## 下草刈りの実施

【第2回】10月24日(土)

秋晴れで心地よい天候の中作業をしていると汗が出てくる陽気で、6月の下草刈りが雨で中止になった分、気合いが伝わる参加人数(25社・149名)で行われました。

土手添いは最近刈り取りがされて綺麗になつておらず、今年2月に植樹した場所も含め作業が進められた分範囲が広くなりましたが、1時間近くの作業は手際よく進み参加者の協力で順調に終えることができました。



かんきょうにゅーす  
Kankyou News

### 事務局からのお知らせ

## 通常総会の開催について

通常総会の日程が決まりましたのでお知らせいたします。

1. 日時 平成28年5月13日(金)
2. 会場 グランドホテル中島屋
3. 時間 理事会 14時30分  
通常総会 15時00分  
講演会 15時40分  
意見交換会 17時10分

【平成28年3月31日現在会員数】 158事業所

5 随時会員を募集しております。  
詳しくは事務局までお問い合わせください。

[発行] 静岡市環境保全推進協力会

[事務局] TEL 054-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡府庁舎 環境局 環境保全課内

TEL 054-221-9373 FAX 054-221-1186

ホームページURL <http://www.shizuoka-kankyo-suishin.jp/>